

JAAC だより

～ 新卒者を襲う“採用内定取消し”通知 ～

このほど、文部科学省が平成21年3月新規卒業予定者における採用内定取消し者数の状況を資料にまとめました。是非、皆さんにも時間のある時にこの資料を参考にさせていただきたいと思います。この資料のホームページは以下のアドレスで参照できます。(http://www.jasso.go.jp/gakusei_plan/documents/mext_cyouusa.pdf#search='内定取消し者数')

詳細については、各自に確認してもらうこととして、やはり目に留まるのは採用内定取消し者数と、内定取消しにまで至らなくとも、採用予定企業から何らかの連絡を受けた者の数を合わせると1,200人を超えているという点です。一旦、採用内定取消しを受けた者が、他の企業から新たに採用内定を取り付けることができた者は全体の4割以下でした。しかも、この資料が全ての採用内定取消し者数を網羅しているわけではなく、報告されていないケースも含めれば、実質的な数字は予想をはるかに超えると言われていています。さらには、新卒者の採用内定取消しに加えて、いわゆる派遣社員の切捨てや、中小及び大企業による大幅な人員削減策がもたらす失業者数を加えると、新聞等で既に報道されている失業者数を大きく上回ります。言うなれば、現時点における正確な失業者数と採用内定取消し者数を把握することは容易ではないと言わざるをえません。“100年に一度の経済危機”と騒がれている今、企業が直面している経営危機が、そのまま就業者と就業予定者にも大きな影響を与えています。

アメリカの大学卒業生(及び卒業予定者)に対する採用内定取消しの状況は、日本の大学卒業生に対する採用内定取消しの割合に比べて少ないと言われてはいますが、この点についてはもう少し調べてみる必要があります。JAACとしましては、次号の『JAACだより』の中で皆さんにご報告したいと思っております。(カリフォルニア事務局 照井)

カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：照井)

【活気づく中古車市場】昨今の経済恐慌的な経済不安がもたらした一つの現象として、ここカリフォルニアでは中古車市場が活気づいています。ようやく手に入れたマイホームの月々のローンが払えず、やむなく車を手放す人たちが増えていることが理由の一つだそうです。ですから、今は比較的に良質な中古車が豊富に市場に出回っている時期で、中古車を購入する人たちにとっては大きなメリットがあるそうです。そのような状況ゆえに、中古車ディーラーの多くは、予め年式と型式によって決められている基準価格(通称：Blue Book)よりもかなり高い価格で車を販売しているところもあると聞きます。はたして、今日の経済不安は販売者側と消費者側のどちらにメリットを多くもたらしているのでしょうか。

【春の訪れを感じさせるカリフォルニアの日々】2月も半ばに入ると、ここ南カリフォルニアには暖かい日々が多くなります。あと半月もすれば、雨の日も少なくなり、本格的な暖かさが訪れることでしょう。今もうすでに、昼間は半袖のTシャツと短パン姿でUCIのキャンパスを歩き交う学生達を目にします。さすがに、朝晩はジャケットを羽織る方が良いとは思いますが、日々、ジャケットの下に着るシャツは薄手のものに変わってきています。南カリフォルニアの気候は地中海性気候であることから、春は短く、降雨量も少なく、アツと言う間に夏の暑さを感じる季節へと移り変わっていきます。当然のことながら、日差しも強くなってきます。燦爛と照りつけるような太陽と、真っ青な海が似合う南カリフォルニア。春を飛び越して、夏がもうすぐそこまで来ているように感じるこの頃です。

ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【音楽が結び付ける人の心と感情】音楽には感情を伝える特別な力があり、人間同士の良好な関係をもたらすものであると、私は信じています。ある時、私が東京駅でタクシーに乗った際に、運転手が私をアメリカ人だと見てとり、即座にジャズのCDをかけてくれました。『いい音楽だね』と私が言うと、彼は嬉しそうでした。互いのことばは通じなくても、気持ちは通じ合えるのですね。その時の経験は、今でも最高の思い出です。昨年夏のことでした。私が子供の頃によく好んで聴いたProkofievの"Peter and the Wolf"という曲を、ピアノを弾く学生に聴かせてみると、曲の英語名は分からなくても、曲の出だしを聴くなり、『知っていますよ』と言いました。また2～3週間前にも、学生の一人が大好きだとう日本の歌手の歌を聴かせてもらおうと、私も共感してその曲と歌手が好きになりました。それは、オペラ愛好家にとって、歌詞がドイツ語やフランス語、イタリア語で、そのことばの意味は分からなくても旋律の美しさに感動を覚えることと同じなのですね。これらのことが、私が東京でタクシーをひろった時のことを思い出させてくれました。ごく最近も、音楽の授業の課題で学生が聴いていたジャズを一緒に聴いて、ごく自然にその話題でお互いに話をすることができました。一般的な日本人留学生はアメリカの音楽に触れながら、留学生活に慣れていきます。彼らはiPodに日本とアメリカの音楽を取り混ぜて楽しんでいます。どうやら、私達が持つ音楽に対する愛好心には制約がないようですね。その音楽によって我々の心に響くものがあるとすれば、まさに音楽に国境無し、と言えるでしょう。

一期一会 先だつてのアメリカ出張の際に大韓航空を利用しました。帰国便の中で私の隣に居合わせたご婦人と、成田までの長旅をご一緒しました。そのご婦人は名前を英名でキャサリンと言い、若いころに韓国からアメリカに渡り、アメリカに帰化したそうです。その方と色々な話をしました。幼少時代を過ごした韓国での思い出が、年令と共に少しずつ記憶から失われていく悲しさ。普段は使うことが少なくなった祖国のことばである韓国語についてなど。話の端々から自分のアイデンティティーを祖国である韓国に求めるのか、それとも母国となった

アメリカに求めるのかを、決めかねているかのようにも見えました。飛行機の中で、客室乗務員と交わすことばも英語であったり、韓国語であったり。人は、置かれた環境と状況により、これほどまでに変わるものなのだと言うことを、改めて思い知らされた気がしました。その昔、日本からは大勢の人たちがブラジルなどの国々に移民として渡った歴史があります。おそらく、その方々の中にも同じような境遇の人たちがいたことでしょう。彼女の人生は、彼女の意思によって決められたものではないことに、私はそこに神の悪戯を感じました。(照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか…?

～ 自分の Roots (ルーツ) ～

アメリカは移民の国として知られています。異なる人種的、文化的、言語的背景を持つ人々が世界中から移り住み、“アメリカ合衆国”という国を成り立たせています。最近の話題としては、オバマ新大統領は初のアフリカ系アメリカ人大統領として選出されました。もちろん我々日本人にとっても身近な存在として、アメリカには日系の上下院議員もいますし、数多くの連邦政府や州政府の役人として活躍している人たちがいます。彼らは自らをアメリカ人であると認識しながらも、自分の“Roots (先祖の出身地や出身国)”に誇りを持って生きています。普段、私は自分のご先祖様のことを深く知ろうとしなかったことを、今さらながらに恥じています。私の父母から聞いた話はせいぜい、私の曾祖父と曾祖母までで、何代にも渡って家系を辿ってみることなど、考えてもみませんでした。ところが、最近、我が家の家系の始まりは、いったいつの時代で、場所は現在のどこなのか、ということに興味を持ち始めました。仕事の合間を見て、是非、今年は私の先祖について調べてみようと思っ

ています。皆さんは、自分の“Roots (ルーツ)”を知っていますか？

Help Line

FAQ

「大学の専攻はいつまで変えることができますか？」

A: 大学在学中に専攻を変えたいと思うのは、留学生であれば誰でも一度は考えることですね。また、いつでも専攻を変えることができる柔軟な教育システムを持っているのが、アメリカの大学だとも言えるでしょう。さて、ご質問にお答えしますが、専攻を変えるならば、できれば2年生になる前に変えることを薦めます。専攻を変えることによって、新たに履修する科目が増えますし、また、3年次に編入する大学の選択にも影響が出てきます。もちろん、3年次に編入した後でも、専攻を変えることは可能ですが、卒業までに費やす時間は当然長くなります。専攻を変える手続きを始める前に、必ず在学校の編入担当カウンセラーか、留学生事務局のカウンセラーに相談してください。自分の気持ちに偽って、いつまでも本意ではない専攻科目の履修を続けることは苦痛かもしれませんね。

【編集後記】 ●企業からの採用内定取消し通知をもらった学生は途方にくれている。企業の経営判断によるものだが、内定取消しに伴う法的な係争案件も増えそうだ▼日本では春一番が吹き、花粉も多く飛び交っている。花粉症を持つ小生にとっては辛い季節となった。先日、アメリカ出張でカリフォルニアに行った時には花粉症の症状が全く出なかったが、帰国したその時から再び悩まされ続けている。春の訪れを肌で感じる日が多くなってきたが、人々の心に『春』が訪れる日はまだ遠いような気がする◆先日、カナダとアメリカ国境近くのナイアガラ空港で飛行機事故があった。仕事で飛行機に乗る機会が多い私にとっては人事ではなく、絶対的な安全性を求めたい。できれば、“ハドソン川の奇跡”ならぬ、“ナイアガラの奇跡”が起きてほしかった★昨日、クリントン国務長官が来日した。クリントン女史が国務長官として就任後、初めての訪問国として日本を選んだ。アメリカにとっては40年ぶりのことだそうで、それにはどんな意味があるのだろうか。とにかく、世界的な経済不安の解決策を各国首脳と話し合い、早期に結論を出してもらいたいものだ。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

■大学生の皆さんへ： 現在受講している科目の Drop & Add (科目の登録変更) の期日を確認していますか？ もう一度、在学している大学のカレンダーで再確認してください。多くの学校は、今月末までにその期日がきます。科目の登録変更は大学のカウンセラーやアドバイザーと必ず話し合いをしてから、その手続きを行いましょう。

◆CSULB への編入について： CSULB (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校) への編入時期が従来の年2回 (春と秋) から、年1回 (秋) だけに変更となりました。同校への編入を考えている人は必ず JAAC カリフォルニア事務局のカウンセラーにご相談ください。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

©JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp